

氏名	伊 藤 國 昭		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 910 号		
学位授与の日付	昭和 52 年 12 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項談当)		
学位論文題目	人胃癌の胃壁内進展と collagenase 活性について		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 小川勝士	教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

人胃癌の間質の大部分をしめる collagen を特異的に分解する collagenase が胃癌の壁内進展に何等かの役割を演じているのではないかと考え、癌胃各部の collagenase 活性を測定し、組織学的な変化と比較検討した。

collagenase は、癌巣部で高活性を示す。組織型では、高分化型胃癌は癌巣部全体に平均して高活性を示すが、低分化型胃癌では、癌巣内でも高活性を示す部分と、あまり高活性でない部があり、癌細胞の密度に比例しているように思われる。進展形式別では、浸潤性進展を示すものの、進展先進部と癌巣中心部との活性差が著明で、進展先進部で高活性を示す。

組織学的検索では、高活性を示す部の collagen 線維は、細く、走行が不規則で、線維芽細胞にも変化をみることが多い。

以上のことより考えて、胃癌の壁内進展に collagenase か何等かの形で関与しているのではないかと推測する。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は胃癌における collagenase 活性について研究したものであるが、従来十分確立されていなかった胃癌の胃壁内進展と collagenase 活性との関係について重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。